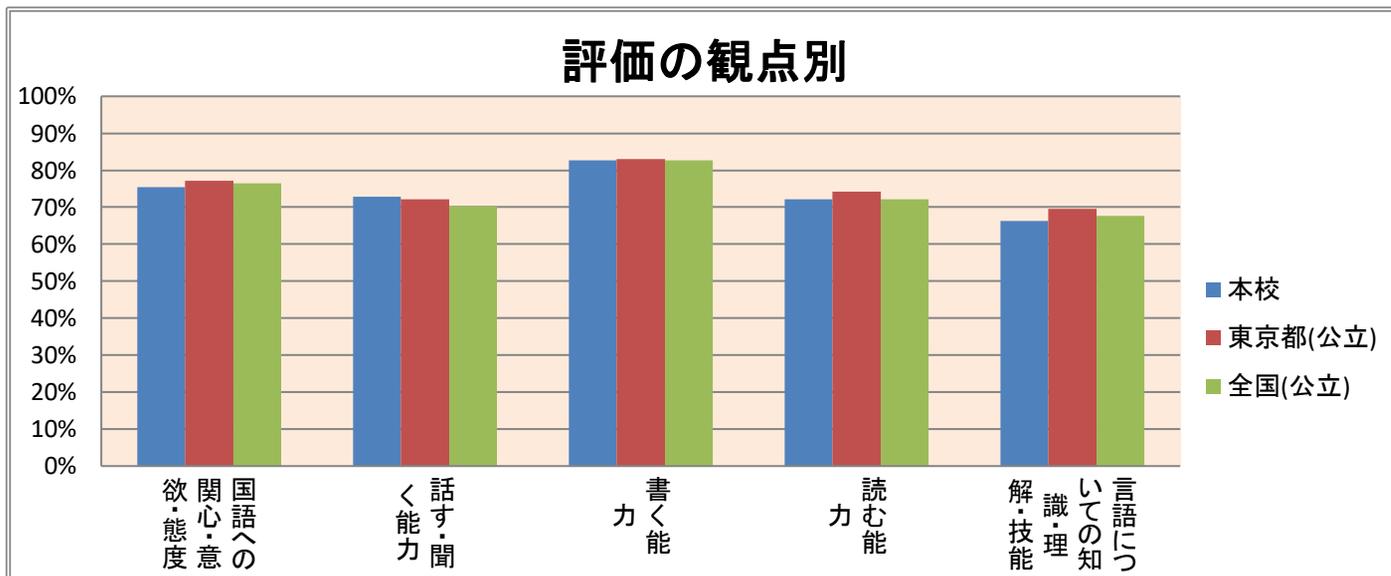
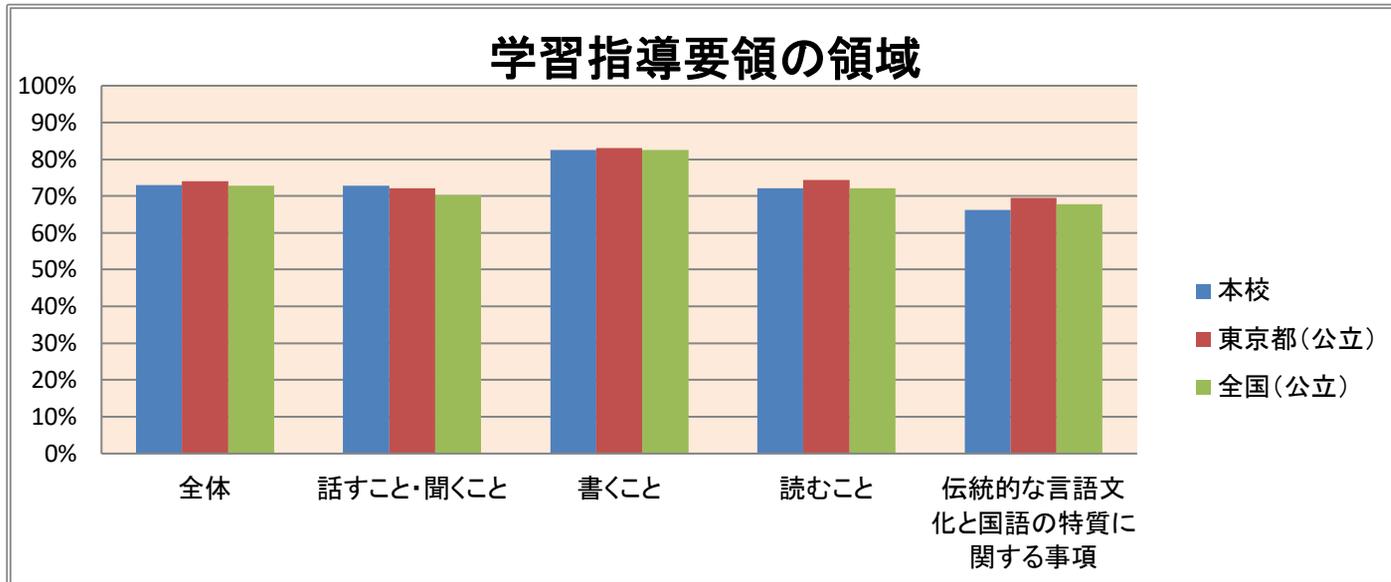


# 国語（令和元年度(H31年度) 全国学力・学習状況調査)

江戸川区立上一色中学校

## 1. 分類ごとの平均正答率



### 1. 学習指導要領の範囲における正答率の分析・考察

#### 【全体】

- ・ 全国の平均正答率と比べると「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で若干下回っている。
- ・ 東京都の平均正答率と比べると「話すこと・聞くこと」以外すべての項目で下回っている。

#### 【話すこと・聞くこと】

事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話す力が弱い。

#### 【書くこと】

書いた文章について助言を基に、自分の表現を見直すことができない。

#### 【読むこと】

文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつことができない生徒が多い。

#### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

語彙が少ない生徒が目立つ。

## 2. 評価の観点別から見た課題

### 【国語への関心・意欲・態度】

自分の考えや意見を書くことができない生徒がいる。

### 【話す・聞く能力】

話すための材料を人との交流を通して集めることができていない生徒が多い。

### 【書く能力】

目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめることができない。

### 【読む能力】

場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができない。

### 【言語についての知識・理解・技能】

古典分野を苦手とする生徒が多い。

## 3. 指導改善のポイント(上記のことをふまえて、具体的に記述する)

- ・話し合いの時間を設け、相手の話を聞いて自分の考えを深化させるようにする。
- ・文章を書く際に、書き手と読み手の両方の立場から検討し、書かせるようにする。
- ・登場人物の言動を表す描写に着目し、他の叙述や場面の展開を根拠としながら、言動の意味を考える学習活動を行う。
- ・語句の意味調べの回数を増やし、授業中にもことわざや熟語の使用例を考えさせるようにする。
- ・家庭学習として行っている漢字の学習を引き続き続けていく。